



マンションでは、地震に備えてどんなことに気をつけたらいいの

ボール、ハンマーなどを用意しておく

木造の家^{もくぞう いえ くら}に比べて、鉄筋^{てつきん}コンクリート^だ建てのマンションは、地震^{じしん}に強い^{つよ}といわれていますが、兵庫県南部地震^{ひょうごけんなんぶじしん}（阪神^{はんしん}・淡路大震災^{あわじだいしんさい}）のときには、かなりの数のマンションが、こわれました。

マンションのとびらや窓^{まど}わくは、ふつう、金属^{きんぞく}でできています。地震^{じしん}のときに建物^{たてもの}がゆがむと、とびらや窓^{まど}が、開か^あなくなることがあります。これに備^{そな}えて、ドアをこじあけるボール、窓ガラスを割^わるハンマー、のこぎりなどを用意^{ようい}しておきます。また、地震^{じしん}が起こったときは、すぐに、とびらや窓^{まど}を開^あけるようにします。

ひなんする通り道^{とお みち たし}を確かめておく

ベランダで、ひなんする通り道^{とお みち}になるような所^{ところ}に、物置^{ものおき}などを、置か^おないようにします。いざというときは、ベランダが、ひなんする通り道^{とお みち}になり、となりの家へ行くこともできます。

ふだんから、ひなんする通り道^{とお みち たし}を確かめておきます。非常階段^{ひじょうかいたん}がない所^{ところ}では、ひなんばしごが、とりつけられていることもあるので、その場所^{ばしょ}や、使い方^{つか かた たし}を確かめておきます。

万一^{まんいち}の場合^{ばあい}に備^{そな}えて、部屋^{へや}からにげられるような、じゅうぶんな長さ^{なが}の、ロープ^{いへい}を用意^{ようい}しておくことも必要^{ひつよう}です。（監修^{かんしゆ}・国司^{くにすけ} 真^{まこと}）

